

「平成29年度とくしま特別支援学校技能甲子園」

(平成29年9月15日)

【平成29年9月16日 土曜日 徳島新聞朝刊より】

特別支援学校生技能競う

県内5校で「甲子園」 阿南が初代王座

徳島県内の特別支援学校高等部の生徒が就職に向けて学んだ技術を競う「とくしま特別支援学校技能甲子園」が15日、徳島市の県立障がい者交流プラザで初めて開かれた。生徒の就労意欲向上と学校間交流が狙いで、5校

が独自に実施している技能検定のビルメンテナンス部門で1〜3級に認定された生徒ら31人が出場した。

阿南支援学校と板野支援学校(板野町)、国府支援学校(徳島市)、池田支援学校美馬分校(美馬市)、みなど高等学園(小松島市)から、県教委など

各校1チーム(3人)がトーナメント形式で対戦。4対4の競技場で、床清掃とテーブル拭きを制限時間10分以内でリレー形式で行い、速さや丁寧さ、礼儀作法などを競った。



ビル清掃の技術を競う生徒＝徳島市の県立障がい者交流プラザ

優勝した阿南支援学校高等部3年加賀谷昂輝さん(17)は「1カ月前から毎日練習してきたのでとてもうれしい。学んだ成果を就職に生かしたい」と喜んだ。(佐藤亮)